

令和2年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	議会運営支援事業						
総合計画 重点施策	行政運営の効率化	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、従来型の議会運営方法や議会活動が難しい状況において、ICTを活用し、平時も有事も円滑に議会運営ができるよう調査研究し、その手法を提示して活発な議会活動に反映するもの。</p> <p>審議・審査、市民との意見交換会、議員研修会等開催のための資料収集整備やファシリテート、先進地事例調査、インターネット環境の整備、政務活動費事務、行政視察連絡調整を実施するもの。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
議会事務局職員によるファシリテート実施数	回	6	3	2	2	6
オンラインを用いた議会事業数	個	—	10	11	12	13

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
通年 委員会等におけるファシリテーションサポート ICTを活用した事業実施	通年において、局内においてICT技術向上、ファシリテート能力・技術の向上、議論の見える化を図り、議会内において運営サポートを図った。 また、新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインを用いた議会運営・議会活動手法にいち早く取り組み、官民学連携のデモテック戦略事業がスタートした。	B (概ね予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	従前の議会運営と併せてオンラインやICTを用いても議会運営・議会活動ができるように調査研究を継続し、平時でも有事であったも円滑な運営・活動ができるようにする。また、必要なときにファシリテーションのサポートができるよう職員のスキルアップを図る。

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	8,115	5,643	5,640	R2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による議会の自主的財政健全のため政務活動費を請求しないことに決定。240万円の減額。また、改選にかかわる経費の減により令和元年度対比で大幅に減。
事業費計(A)	8,115	5,643	5,640		
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	6,768	7,180	7,296	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	21,421	22,890	23,136	協働の取組・方向性	
トータルコスト(A+B)	29,536	28,533	28,776		

令和2年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	議会情報発信の充実事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
<p>議会の審議概要・結果や開会中、閉会中を問わず、議会活動を広く市民に情報を提供する。</p> <p>①音声認識システムを用いて会議録等を作成。市ホームページには、本会議会議録を閉会后約1週間程度で速報版を掲載。また、提出議案や委員会記録も掲載。②本会議映像配信は、無料動画配信サイトを利用したライブ配信のほか録画配信も実施。③議会だより「ひびき概要版」を発行し、希望者や広報とりで同封による直接郵送。また、市議を経由しての市民への発信、公共施設・駅・郵便局・一部スーパーに配置。④「取手市議会・議会事務局Facebookページ」「ひびきメール」により積極的に情報発信し、フォロー数や登録者数を増やす。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
市議会インターネット配信視聴回数	回	16,151	24,560	25,000	25,500	26,000
〃チャンネル登録数	件	58	126	150	180	200
Facebookページフォロー数	件	280	517	600	700	800
会議録検索システムアクセス数	件	14,654	10,727	11,000	11,500	12,000
ひびきメール登録数	件	994	1,119	1,200	1,300	1,400

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
議会や委員会開催前後、議会活動の都度、発信	市議会Facebookページフォロー数やひびきメール登録数が着実に増加したため、目標値を上方修正した。各種情報発信事業の積極的周知を実施したことや、ICTやオンラインを用いた取り組みで全国的な注目を集めたことにより増加している。	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	Facebookページのフォロー数及びひびきメール登録数など、引き続き、議会が発信する情報利用者の増加を進めていくとともに、ウェブを中心に市民に情報を発信していく。

事業費(単位:千円)	R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			R2年度は、10ページ構成のひびき発行及び新聞折り込みによる配布廃止のため、また、デモテック戦略や音声テック協定によるアプリケーションや議場内カメラ等機器使用料の減。	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,434	3,902		2,017
事業費計(A)	5,434	3,902	2,017	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	7	7	デモテック戦略四者協定により、採決表示システムアプリを無償貸与。(令和5年度末までの予定)また、議場内カメラ機器一式を音声テック協定により無償提供され、それぞれに新しい民主主義や議会の形を創造していく。	
	業務時間	8,476	9,198		9,144
	その他職員人件費				
人件費計(B)	26,827	29,323	28,996		
トータルコスト(A+B)	32,261	33,225	31,013		

令和2年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	議会と中学生等との合同事業の実施事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
<p>中学生等との対話や模擬議会の開催により、議会や市政を身近に感じてもらうとともに、議会として、議会基本条例の目的にある議会の政策提言達成と事業を通して市議会や市政への関心・理解度を高めるもの。</p>

成果指標	単位	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標)	R4 (目標)	R5 (目標)
事業後に実施するアンケートによる議会や議員のイメージに関する良い印象の回答率	%	94.8	88.9	95.0	96.0	97.0

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
5月 学校との打ち合わせ 8月 議会運営委員会にて実施協議 9月 議員の役割決定 11月 学校への出前授業 12月 議会傍聴、模擬議会 3月 中学生からの提言を委員会調査	<p>取手二中3年生総合的学習授業として、これまでは市議と事務局職員が教室に於いての授業を新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインを用いて事業実施した。「取手市の未来」への提言案を生徒とともに作成。各クラス代表グループは議場にて模擬議会を実施し、5つの提言が可決され、市議会において調査した。また、3年生全員が教室内で第4回定例会をインターネット配信により視聴した。</p>	B (概ね予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	<p>中学生との協働事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点からオンラインの手法を用いて実施した。オンラインでの実施は初の試みのため明確ではないが、対面手法での事業との比較ではアンケート結果からやや劣る結果となった。しかし、事業目的は十分達成できるため、オンラインでもより効果が高くなるよう手法の検討をしていく。</p>

事業費(単位:千円)		R1(実績)	R2(実績)	R3(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	—	—	—	
	県支出金	—	—	—	
	地方債	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	一般財源	0	0	0	
事業費計(A)		0	0	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	7	7	7	コロナ禍において、オンラインを用いても事業目的は十分達成できることが証明されたので、対面、オンラインを問わず取手二中との事業は継続していく。市内の他中学校からの依頼があった場合も同様に開催できるよう調整を図っていく。
	業務時間	254	224	224	
	その他職員人件費	—	—	—	
人件費計(B)		804	714	710	
トータルコスト(A+B)		804	714	710	